



歴史的砂防施設

県の砂防事業は、大正12（1923）年の関東大震災を契機に、大正14（1925）年から国直轄砂防事業が開始されたことが始まりです。地震の強い揺れにより、丹沢、箱根山地では、山腹の亀裂や崩壊に至る所で発生し、土石流が多発したため、震災復旧砂防事業として昭和初期に多くの堰堤を整備。一世紀を経た現在も、下流のまちを守り続けています。

この歴史的砂防施設のうち8施設が、日本にとって歴史上、学術上価値の高い建造物として登録有形文化財となっています。

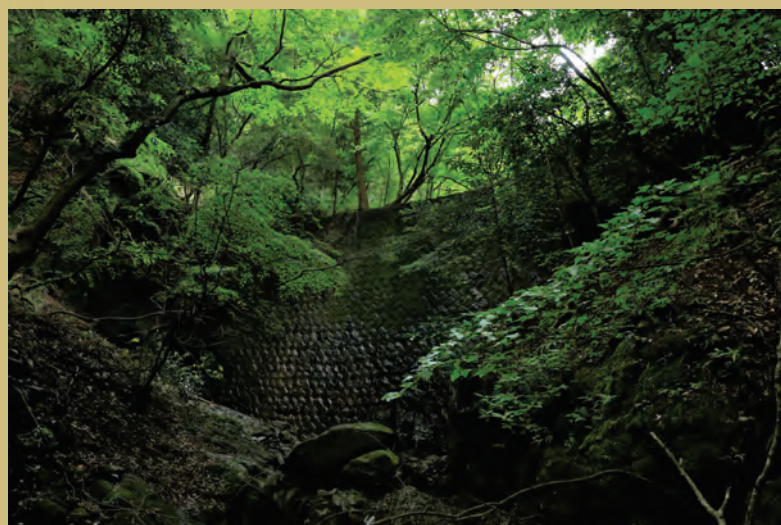
はちだんえんてい 八段堰堤

所在地：伊勢原市大山
溪流名：二級河川金目川水系 鈴川
形式：不透過型重力式石積堰堤
規模：高さ11m 堤頂長37m
完成：昭和3（1928）年度



でやまえんてい 出山堰堤

所在地：足柄下郡箱根町大平台ほか
溪流名：二級河川早川水系 早川
形式：不透過型重力式石積堰堤
規模：高さ20m 堤頂長52m
完成：昭和4（1929）年度



ふくろまちえんてい 袋町堰堤

所在地：伊勢原市大山
溪流名：二級河川金目川水系 不動沢
形式：不透過型重力式石積堰堤
規模：高さ6m 堤頂長24m
完成：昭和4（1929）年度



丹沢山より見た崩壊地
（白い山肌部分）



かながわ「昭和100年」

つながる心、ともに未来へ



もとたきえんてい

元滝堰堤

所在地：伊勢原市大山

溪流名：二級河川金目川水系 鈴川

形式：不透過型重力式石積堰堤

規模：高さ4.3m 堤頂長25m

完成：昭和5（1930）年度



かんのんざかえんてい

観音坂堰堤

所在地：足柄下郡箱根町湯本茶屋

溪流名：二級河川早川水系 須雲川

形式：不透過型重力式石積堰堤

規模：高さ10m 堤頂長51m

完成：昭和5（1930）年度



やまのかみえんてい

山ノ神堰堤

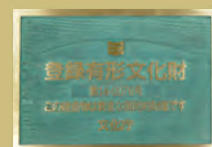
所在地：秦野市堀山下ほか

溪流名：二級河川金目川水系 水無川

形式：不透過型重力式石積堰堤

規模：高さ13m 堤頂長32m

完成：昭和7（1932）年度



さるわたりえんてい

猿渡堰堤

所在地：秦野市堀山下ほか

溪流名：二級河川金目川水系 水無川

形式：不透過型重力式石積堰堤

規模：高さ16m 堤頂長39m

完成：昭和7（1932）年度



とがわえんてい

戸川堰堤

所在地：秦野市堀山下ほか

溪流名：二級河川金目川水系 水無川

形式：不透過型重力式石積堰堤

規模：高さ8m 堤頂長189m

完成：昭和16（1941）年度

昭和25（1950）年度高上



かながわ「昭和100年」

つながる心、ともに未来へ